

1 日時

令和6年3月23日（土） 15:30 ～ 16:50

2 場所

能見台地域ケアプラザ

3 参加者

（地域側）自治会等地域団体関係	17名
（支援チーム、その他行政側）	
区役所	5名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	5名

計 27名

4 意見交換要旨

事前に単位町内会に令和5年度に取り組んだ取組や活動について振り返りを実施し、第4期地区別計画・振り返りシートにまとめた。それを共有したうえで、来年度はどのように地区別計画を推進していくか、5つの目標からテーマ別に5グループに分かれて意見交換を実施した。

(キャッチフレーズ)

・やさしく、心豊かな子どもの成長を育み 高齢者にやさしい街 能見台

A 安心して暮らせる街

○ 防犯に関する取り組み

空き巣被害が能見台にも発生していることから連合として面、エリアの防犯対策をとっていく必要がある。具体的にはフェンス等に立て看板を設置する。空き巣を抑止する効果があり。

また家庭の防犯意識を高める、防犯に対する情報共有をする必要がある。そのために警察や消防署員を呼んで講演会の開催をする。最新の防犯情報を聞き、家庭でも防犯に対する取り組みを進める。

○ 防災に関する取り組み

今後空き家が多くなると地震発生時に火災が発生する可能性が高いことが予想されるため、あらかじめシミュレーションをしておくことで災害時に対応することができ、防災意識が高まる。具体的には考える防災訓練を開催する。例えばコンビニ袋を使用して川から水を運んでみるイベントを開催しみんなで考え、知恵を出し合い課題解決をする。個人で興味が湧き、防災意識が高まる。

B 笑顔あふれる街

令和5年度の取り組みとして能見台ウォークラリー、能見台フェスタ、グランドゴルフ大会が開催でき、学校の協力を得ることができ、子どもが楽しめる企画やすべての世代が楽しめる、交流できるものになった。能見台フェスタでは2部制にしたが、片付け作業が大変になってしまった。

次年度は、前日に大人が楽しめる企画を開催し、翌日に能見台フェスタを開催するだったり、子どもたちのアイデアの取り込みとして、1ブースを企画から任せてみるなどの意見が出た。また、さらなる多世代交流や参加者が楽しめる案として、グランドゴルフ大会にチーム制を導入したり、「能見台連合逃走中」の開催や、竹灯籠を街に飾る等のアイデアが出た。

C 地域情報が共有できる街

今まで取り組みをさらに充実させていくことが重要。具体的には広報誌「ほのぼの」やインスタグラム、LINEで行事情報をはやく周知していく。能見台ウォークラリーについてももう少し早めに案内をすれば参加者が増えることにつながるのではないかと。広報誌「ほのぼの」の内容をインスタグラムに掲載していくことはすぐにできる。病院やクリニックにチラシを配架依頼することもできるのではないかと。連合として発信が少なく感じ、閲覧する、見る人を増やす取り組みが必要ではないかと。自治会加入につながる。

D 協力し合える街

一斉清掃、公園愛護会の活動に対して今後も多くの参加者を増やしていく必要がある。

○ 地域から学校への協力

卒業前の時期に小学校6年生や中学校3年生を対象として救命救急講習や詐欺被害防止の講習などを地域自らが講師となり伝えていく。学校コーディネーターと連携し年内行事を把握し開催時期等の検討をしていく。

○ 下校時の危険な場所に対する見守り活動のさらなる取組の実施

危険な場所を把握しており見守りが少ない現状のため、学校とも連携し見守り活動を増やしていく。

○ 一斉清掃について

人手確保の問題があるが、参加者をもっと増やしていきたい。使用する道具を増やすなどの整備をしていく。

E 助け合える街

「グランドゴルフ大会」や「ママといっしょにあそぼう」など高齢者や子どもに対する取り組みはできている。また連合としてイベント以外に取り組みができないか検討していく。

○ 情報発信

子どもや高齢者向けの情報発信が必要であり、常に情報をアップデートしていくことが重要である。

○ 見守り活動

子どもに対する朝や夕方を見守り活動の充実をしていく。

○ 連合としての「拠点」創出

サウナができる、集まれる施設を整備し、交流できる場をつくることが重要。